

## 令和元年度第2回笛吹市御坂町地域審議会会議録

### 開催日時

令和元年 11月 19日 (火) 午後7時～

### 開催場所

学びの杜みさか講座教室 I

### 出席者

#### ・地域審議委員

埴原委員、弦間(義)委員、早川委員、山下委員、上野(正)委員、川井委員  
久保田委員、堀内委員、弦間委員、上野(美)委員 計 10名

・事務局 田中支所長、臼城地域住民担当 L

### 欠席者

小澤委員、河野委員、天野委員 計 3名

傍聴人 なし

### 次 第 (進行：支所長)

#### 1. 開会 (支所長)

・互礼により開会

#### 2. 会長あいさつ

お忙しいところ御苦勞様です。

昨年は、台風あり、遅霜や降雹あり、病気あり、また秋の長雨もあり大変な年であった。

各地域においても、秋の重要な催し事も大体落ち着いてきたところだと思う。本日は第2回の御坂町地域審議会となる。慎重のうえ活発な御意見の程よろしく願いしたい。

簡単ではあるが挨拶とさせていただきます。

#### 3. 議事(進行：会長)

(支所長： 地域審議会条例第7条の4により会議の議長は会長が行うことを説明。)

##### (1) 地域審議会の終了について

(会長)

(1)の地域審議会の終了について事務局から説明をお願いしたい。

(事務局)

(地域審議会終了についての経過説明)

(各団体での委員の改選を迎える審議会委員(3名)について、3月31日まで委員を継続していただくことを依頼)

(会長)

ただいまの説明について、承認をいただくということによろしいか。

(支所長)

お願いしたい。

(会長)

ただいま事務局から説明のあった 3 名の方には終了までやっていただきたいという  
ことだがいかがか。

(委員)

3 月 31 日までということか。

(委員)

1 人の委員は来年の 8 月末までの任期なので、今年度の 3 月末までなら 2 人という  
ことではないか。

(支所長)

そのとおりである。

(会長)

それでは 2 人には同意いただけるか。

(委員)

新市の建設計画の変更が出たなかで検討をしたが、令和 2 年 3 月 31 日を以って終  
了するということが決定されたということか

(支所長)

そのとおりである。

(会長)

それでは、2 人にも同意いただけるということによろしいか。

(了承)

(支所長)

ありがとうございます。

それでは、市長よりあいさつ文を預かっているので代読させていただく。

(市長あいさつ文を代読)

(会長)

事務局から何かあるか。

(支所長)

もう一点確認ということで、ただいま令和 2 年 3 月 31 日を以って終了というお話  
しをさせていただいたところだが、1 つはこの後、組織をどうしていくか。御苦労様  
でしたということで解散で良いか、皆様の御意見をお伺いしたいということが 1 つ。

それから本来地域審議会が、市からの諮問を受けて答申をするという機関である  
ということなので、今後はその諮問がなければ、開催をしないという訳だが、今まで皆  
様には御苦労をいただいたということもあり、事務局としては解散会ではないが、感  
謝の意を表しながら会を設けたいという気持ちもある。皆様にも御負担はいただかな

ければならないが、お食事をとりながら、まちづくりについて語り合っただき、それを以って解散ということにさせていただこうということを考えている。

終了をどのようにするかということと、年度末に解散の会を計画しているという2点について御意見をいただきたいと思う。

(会長)

今支所長から、この会の閉めをとということで、解散会の日程を決めなければならないが、皆さんお集まりなのでそのあたりの段取りまでどうか。

(委員)

3月末を以ってこの地域審議会が終わるということで、支所長が話をしたとおりの年度末に解散の会をするということについては賛成。

ただ、それですべてが終わりではなく、やっぱり何らかの形で再スタートすることも必要かなと思う。というのは、審議会ですら市長からの諮問に対して御坂の町としてこうだろうああだろうといった部分もあったが、自分自身が感じていることは、審議会のメンバーが御坂の町を如何にしていくか。あるいは、色々なところで活性化をさせていこうとか、もっとうしたら御坂の町が良くなるのではないか、ということの意見交換をしたということが中心ではなかったのかなという気がしている。

そういった中で、最近でいえばこの地域審議会の中で、盆踊りの時にみさか音頭とかを踊ったらどうか、という意見が出たときに、それは良いことだということで早速納涼の夕べに向けてやっていただく中で、みさか音頭が復活したという経過もあり、最近でいうと福祉まつりで踊ったということもあったりし、御坂のお祭りらしい雰囲気が出てきたなということは、地域審議会の意見の中から出てきた成果ではないのかなという風に思っている。

また、市への要望も含めて御坂西小学校の通学路を国道に格上げをして整備をしてほしいという部分も、地域審議会の中で出たものを市へという形の中でやってきて、やはりこれから市への要望ということで、諮問に対してではなく、御坂の町をこれからどうしていったら良いのかということをもみんなで考える会にしていったらどうかということも思っている。

そのようなことを踏まえて、終わりにすると同時に、何らかの形の中で再スタートを切って、名前は地域審議会ではなく御坂の活性化を考える会だとか、御坂の町をもっと元気にするにはどうしたら良いのかといった方向で会を進めていったらどうかということを考えているが、皆さんの意見を聞く中で今後の方向性を決めていただければと思っている。

(会長)

ただいまの意見は、市長からの諮問に対して答申をすることが会の本筋なのだけれども、そうでなくて御坂のことは御坂の中でいろいろと要望するなど協議していった方が良いのではないかということか。

このことについて、他の委員さんの意見をお聞きしたい。

(委員)

先日、地区の運動会の時に他の委員と会って話をしたところ、今委員が言ったように、この会は決め事により終了になるのは仕方ないが、折角このような良い会がある

のだから、もう少し地元の声を直接届けるには区長さんもいるが、区長さんの仕事は沢山あり大変なので、他の方も参加し、意見を出し合える組織にしたかどうかという話をいただき、区長会長だからということで役職を押し付けるのも申し訳ないので、その他の人達で良い意見があったら市長の方へ届けるとか、そのような形で、もっと御坂を自分達で盛り上げる組織を作っても良いではないか、ということと言われ私もそう思った。出来るのであれば何らかの形でも良いのでもしそのようなものが出来たらぜひ協力しますと話した。

そういった組織を支所で音頭を取っていただき出来るのであれば有難いし、もし支所で全然手を出せないということなら、有志の方だけでも組織が作れるのであればそれも1つの案ですねとも言われた。そんなこともあり御審議いただければ有難い。

(委員)

このあいだ議員さんとの懇親会の時に、陽気が大変変動して予期せぬ災害、予期せぬ事態が発生することが多くなってきた。それに対して地域が、もう少し考えてやっていかなければいけない時代に来ているので、御坂町であれば御坂町という地域全体がまとまって災害にどう取り組むかということが必要。

例えば大野寺地区に母親と娘さんの二人きりで山の中に住んでいる人がおり、当然パソコンもなければスマホもなく何も無いわけである。上に山を控え、前に大きな一級河川を控えていて、もし災害が起きたらどうやって助けに行くのかという具体的な方法が確立されていない、ということからも私たちが地域で真剣になって考えなければならぬ時代が来ている。

あそこの河川が氾濫したらどうするか。もし災害が起きたらどこに逃げるのか。実際の具体案は出来ていない。もう少し具体的に実践に合うようなことをしていくためにもこのような会は必要だと思う。私自身もどういう形でも良いから残してもらってやっていくべきかなと思っている。

(委員)

この会の一番の良いところは、世代が若い方から年配の方までいろんな年代がこれだけの数の中に集まったという点が一番素晴らしいと思っている。

このような委員会や、例えば市で行われている笛吹のまちづくりについてというようなものは、行政が中心になって集まる組織になっている。そういう中で御坂はこういう機会をいただいてこれが終了という機会に、ぜひ市民からの声で市民がつくるこういった組織、今からの笛吹市の中にある御坂町であるが、御坂町の未来を今からどうしていくか。

先程委員がおっしゃったように、災害の時にはどうするか、子育てはどうするか、農業従事者の皆さんの今後はどうあるべきなのか、などを実際に携わっている方から生の声が聞けるというチャンスが中々なくて、若い委員の方たちと同じ会議の場でもそれもある程度の役を持ちながら出てきている若い人たちの生の意見を聞ける。

考えてみると素晴らしく凝縮された会議で、最初は行政で集めていただいたわけであるが、そういうものがやはり自立する中で御坂のまちづくり人づくりのために、今後御坂をどのように考えるかという点でこういう会議の第2のスタートが切れたら本当に素晴らしいのではないかと思う。

(会長)

ただいまお話いただいた中で若い委員の方はどうか。

(委員)

私はスポーツ推進委員代表として出てきているが、スポーツ推進委員としてはここで発言する意見はあまりないが、一市民として考えてみると先程の災害関連で、この前の台風についてもその答えが出ていないということについては、住民から細かい意見を聞きとりながらどうしていったらよいのか検討するということが一番大事ではないかと思う。

そういう面からもこのような会は出来ればよいのかと思うが、ただやはりスポーツ推進委員という形で来ているので、来年度はまた違う委員が出てくるがそれはそれで良いのかなとは思ふ。

(委員)

このまま会にいていただいて任期で終わりとかではなく、委員がまた仲間を連れてきて欲しい。若い人たちの力が今から必要ではないか。私たち老いていく人たちも大事だが、経験のある人たちも大事だが、若い人たちが今からの御坂を子供たちにも繋いでいくためには、私たち先輩含めてどういう形でお互いに参加しながら、色々なものに立ち向かっていくのかという話をする機会がないではないか。その中で御坂はより早く老若男女すべての人たちが楽しいことも苦しいことも災害についても集えて話せる場があると良いなと思う。

(委員)

結局は所属としてスポーツ推進委員であったが、また違う方が来ると思うがそれはそれで良いのかなとは思ふ。

(委員)

先程も言ったように、その代表で来ているから、私も農業委員が9月で終われば新しい農業委員になるから去らなければならないし、なので結局新しい農業委員さんになり、また1からやるという形になってしまうので1年で任期が終わればその人は終わり、また新しい人が入ってくれば何も分からない人間が入ってくるので、先程委員が言ったように有志が集まってやっても良いかなと思う。

私も初めて入り、何回も出席してこういうものだとは分かっているから良いが、新しい農業委員さんが入っても雰囲気も分からないし経験も無いしでどうなのかなと思う。今意見を聞いた中で私も9月で終われば新しい人と交代しないとないと思っている。

(委員)

私が思ったのは折角ここで終わりになり、リセットで新しく作るのであれば、役職で出てくるのではなく、現在の委員さんがベースとして残ってもらい、肩書を外しても来年度新しい会長さんが選ばれるのなら、委員が言ったようにその人と一緒に来るとか、自分とはとにかく行ってこんな会があるから何か要望があったら言おうじゃないとか、今子供たちがこんなことを考えているから皆さんにそのような話を聞いてもらいたいとか、こんなことも考えているあんなことも考えているということを出るか出来ないかは別として、みんなにそれを知ってもらうということは良い機会では

ないか。

これが100人や200人になってしまうとそれも困ってしまう訳だが、それほど増えはしないと思うので、上限を大体何人くらいと決めてその間で何年後には入れ替えをするという期間を決め、いきなり入れ替えではなく1回か2回くらいは一緒に来てもらい、雰囲気やこんな話をしているというのを見てもらいながら世代交代をしていったらどうか。

ただ、出来るか出来ないかはともかく、やって良いものかどうかそれを先に決めないと、任期ということもあるがそれは後回しにして随時やっていけばよいことだと思う。

一応、支所の方でも多少は関わってもらわないと、勝手にやってくださいでは空中分解という可能性もあるので、そのあたりも支所長に聞いて出来るものなのか。

(委員)

任期に関係なくこのメンバーはこのメンバーで残していけるものだったら残していても良いと思う。

(委員)

今夜は消防の委員さんがいないが、防災に関してというのはやっぱり黒駒は黒駒、錦生は錦生、花鳥は花鳥という地区毎の力強いものというか、こんな時にはこんなものがあつたら良いとか。だからこのようにしようとか事細かいものがもう少し出てくれば災害時にも対応できるのではないか。いざとなってみないと分からないものではあるが、マニュアルのマニュアルがあつて、その応用などについて聞けるというのはやはり現場の人間でなければ分からないことだと思う。

今のままのメンバーに残ってもらえると有難いし、私たちが全然分からないので、こういう時にはこうすれば良いというのも分からないし、農業を手伝ってくださいと言われても私たちに色々なことは出来ないし、分からない事がかなりあるので、とりあえずそのようなことを聞きたいし、知りたいし、もし出来るのであればお手伝いしたいしやってみたいという風に話が膨らんでいけば良いかなと思う。

(委員)

この会に何回か参加させていただき、町の裏側でこういった意見を交わす場があつたということも初めて知つたし、私自身子供が生まれて最近嫁さんと話をしていることがあるのだが、今年3歳の子供と1歳になる子供で来年度から1歳になる子供を保育園に入れたいと思っている。

ところが、保育園が兄弟でも一緒に未満児は入れられないというような話も聞いて、子供を産んでほしいとか子供を増やせという感じになっているのだが、保育園自体が子供2人で違う保育園というのは、都会ではよく聞く話だが、そうやってほしくはないということなのだが。

(委員)

昔は良かったのに。昔は一緒に3人だろうが同じ保育園に入れていたと思う。そういうことが話せる場があるということが大事。

(委員)

私は今現役で消防団活動をしている。台風19号の時にも消防団として見回つたの

だが、私の尾山地区については御坂中学校体育館が避難場所なのだが、消防が6時半頃に集合して見回りをし、その後尾山地区にも避難しろということだった。

何度か中学校の駐車場を見たが、車が10台から最終的に20台位になったのだが、避難レベルが最高のレベル5であった。であるのに避難する人が少なかったのかなということもあり、実際になるとやっぱりどこからが避難になり、どこまで家に居てよいのか、どの時点で非難するのか全く分からないので、結局家に居て何もなかったから良かったとは思うのだが、実際にすごい災害が起きた時には結局避難所で安否を確認するというのが、今後の災害における被害状況を知るのに一番早い方法なのかなと思った。

(会長)

そこでこのような会を継続したいかについてはどうか。

(委員)

継続した方が良いというか、違う形であってもこのような意見を言える会があっても良いと思う。

(委員)

色々あるのだが、審議会は審議会で今回片を付けた方が良いと思う。先ほどからもいろいろ出ているように、何か別の方法で御坂地区を考えていくということであれば歓迎していくというか、役職とか何とかということではなく、もう少し人格なり人をよく見てそのような人達の集まりにして会を作るのも、先程から出ているように御坂全体が盛り上がっていくのではないかな。

会議についても1つの会議なのか2つ位を比較するのか。全体含めて1つの会議が良いのか。あるいは今言ったスポーツならスポーツ、農業なら農業関係といったように色々あると思うのだが。職員についてもそういった形で接してもらえれば良いのではないかなと思っている。

今私の民生委員も3期で終わるのだが、民生委員も今ある情報だと、御坂は36人いて残るのが3人とのこと。そういった状況なので会議をしても先ほどの委員も言っていたが、なかなか全体の状況がつかめない。そういう地域の中で役職を2期、3期とやる方を世代交代ではないが、それが良いのかどうかは分からないが、別の会議で少しでも関係する人達で構成した方が良いのかなと、あまり役職など拘ることなく人選をして会を構成していくことが必要かなと思う。

(委員)

ほぼ全員の意見を聞いたが、原則的には解散会を行った方が良いということ。これは市長からの諮問に対して答申をする会なのだけれど、そうではなくて、現実として御坂の将来を考えるということを提案したいということが大勢の意見だったと思う。

そうなればやはり、色々時間もかかるだろうし検討しなければいけないと思うが、事務局の方ではどうか。

(委員)

私自身もそのような意見が出るのかなと予想していた。組織を作っただけ、まちづくりに関して話をさせていただくことは良いことなのかなと感じている。

ただ、今までの地域審議会というのが市で必要を感じて作られた組織で、色々な部

分で例えば会議室の使用についても優遇され、事務局によって通知や議事録等の事務も行われている訳だが、そういったことが引き続き出来るかどうかというのはちょっと難しい部分があるかと思う。

市の組織という部分ではなく、任意に作られた組織となるため、上にあげる御意見の力が少しは変化してくるのかなというところも心配されるところではある。

市長が市民ファーストを唱えているので、市の町のどなたの意見であっても、原則的に上にあげるということは可能であり、それが叶えられるのかどうかという部分は、単純に伝わったから叶うというものではないとは思いますが、市民や町民がこのようなことを考えている、このような希望を持っているということを上に伝える、何らかの方法で伝えていくということは必要ではないかと思う。

また、この会だけではなく、この会に出ている方もそれぞれの組織の代表ということなので、地域審議会というものがあって、その中でこんな話があって、例えばスポーツ関係者はこんな風に考えているとか、農業関係者はこんな風に考えている、福祉関係の方はどんな風に考えているということをそれぞれもまた考えていただく必要があるのかなと感じている。

今までどおり同じように事務局がということは、今の段階では言い切ることは出来ないが、非常にありがたい御意見であるということを感じているし、そういったものが必要なのかなということも感じているところではある。

(会長)

それではまず、解散会の日程を決め、それまでにまたいろいろ考えていくということだと思うが、そうしないとこのままになってしまうので。

(委員)

解散会の日程を決めるということだが2月か3月か。

(委員)

3月は各行政区役員の改選があり忙しいので2月中にやった方が良いのではないか。

(委員)

2月ということでしょうか。

(会長)

事務局で見当がついていれば。

(委員)

日程を決めていただき、その日に皆さんが都合を合わせるということでしょうか。まだまだ先の話であるし、他の用事は全てキャンセルしてもらいこれを優先してもらえば。忘れないようにしてもらって。

(事務局による日程調整の結果、解散会の候補日が2月17日(月)、18日(火)、19日(水)の3日間となった。)

(委員)

例えばこれを継続して、どのような人選になるかは分からないが、要するに通知を発送する、会場を予約しなければならないという部分でいうと、今支所長が言った事



事務局としての対応ができるかどうかといことについては、ちょっと心配な面もあると言っていたが、支所の方で会の継続にあたって事務局を引き受けてくれるかどうかというのは会が動いていくかどうかに関して結構大きな問題である訳だが、そのあたりについて支所長はどのようにお考えか。

(支所長)

サポートという部分では今現在もできる。例えば体協なども事務局をしているが、それぞれの団体の中で進めてもらっているので、資料作成や通知発送という部分についてサポートすることはやっているなのでその範囲であれば。

(委員)

そうすると、例えば会議を開催するにあたっては、今2人に来ていただいているが、今度の新しい会になった時には、サポートとして資料は作っても会議には参加しない。それとも参加していただけるのか。

(支所長)

事務局としての出席はおそらく難しいのかと思う。

(委員)

事務局としてはというのは、いろいろな話をして自分達だけで進めた時に、例えば支所長にこれについては如何でしょうか。ということで行政全体や笛吹市全体や御坂町における行政の動きとかをある程度参考にしながら話を進めていくことが必要だと思う。

ここで話をしているその件については、支所に行かないと分からないからそれについては会長が市役所に行って来てください。などということではなく、ここで話が出たものについて聞いていただき、あるいは支所長この辺はどのようなのですかという問いに対して、それについてはこうですといった具合に、話がスムーズに行けるようになると良いなと思っている。

なので、今のような事務局という形ではなくてサポートという形でも良いので、この会に参加をしていただければ非常に有難いなというのがお願いである。

(委員)

話だけで終わらないで、どの道を選ぶとそれに対して可能性があるかとか、そういった意味で補佐をしていただけるということが大事である。

(委員)

新しいメンバーというか、それをどうするかという問題もこれから出てくると思う。今の体制を維持してこれにもっと違う人も入れたらいいねというのか、一回チャラにして新たにこのような人、このような役職といって人選をしていくのか、そのあたりもある程度詰めておかないといけないなという風に思っている。

今はだいたい役職で充てられている部分があって、まあ仕方ないという部分もあると思うが、今度はそうではなく役職で充てられるのだけれど、自分たちが自分たちの町をどうして行こうかという部分でいくと、役職で充てられるのだけれど、一年経ったら終わりではなく、例えば会長として来ても2年間継続してやるなりして2年経ったら先ほど委員が言ったように、スポーツ推進委員が1年で終わるとすれば一緒に次の年に来てやって引継ぎというか上手くやっていけば良い。そのような体制をどう

やって作っていくか、どこかできっちり話をして次に進んでいかないといけない。

(会長)

これはすごく難しい。

(委員)

今区長会長がこのような審議会なので会長になっているが、次の時にはまた変わっても良いと思う。でた中で誰が会長をするのかという部分で。

(会長)

区長会長の任期は1年きりだから。

(委員)

例えば区長会に出てもらおうという事だと、2年間継続するというということであれば、新しくなった区長さんにこの会に入ってもらって2年間やっていくと。だから区長会長がここに参加をしていなくても良いのかなと。区長会長は2年目に会長をやるとすぐに任期満了になる。

(会長)

そうである。

(委員)

だから、1年しか居ないから区長会の新しく入った人が、例えば副会長になる人がここに入って2年間やってもらおう、といったいろいろな方法が考えられると思う。そのあたりも考えて人選をしていくことが必要。

それから来年御坂の区長会長が笛吹市の連合区長会の会長になるということで、その辺は絶対に外してあげないといけないなという部分がある。その辺の部分も含めて区長会長が出てくるのではなく、区長会の代表がこの会に入るという形をしっかりと作ってから人選を進めていったら良いなと思う。

(会長)

それもあるが、市民ファーストのもと市民ミーティング、市長への手紙などの取り組みを行うのと共に地域の意見について区長会、地区要望など市民の声を市政に反映させるための仕組みを十分整えたため、条例に定めるとおり令和2年3月31日を以って終了することとなりました。とこれが行政の意見である。

今委員が言ったのは、そうではなくてやっていこうというのだから、やはりそれをやっていくためにはものすごいエネルギーが必要だと思う。だからそれをどのようにしていくかということなのだけれど。

(委員)

区長会長を区長会の中から選んで、この審議会でも話して区長会に伝えなければならぬことがあれば、その方が区長会で伝えれば良いかなと。会長ではなくても。

(会長)

行政側の感覚はこのような感覚なので、今夜ここで話をしても2月の会をする時まである程度エネルギーを使って物事をしていかないと進まないと思うが。

(委員)

2月の解散会をする時までには、このような人達が来年度進めていきたいという部分がある程度出していないと、来年度さっとは出来ないのではないかな。

(委員)

準備委員会を作ったらどうか。2月までにといいか解散するまでにこの中のメンバーから若干名を選んで準備委員会を作り、原案を作って会長はどうするかなど、細部にわたって協議していったらどうか。

(委員)

このメンバーの中から準備委員会を作って、そしてある程度固めてという方向で。

(委員)

3人位か。

(委員)

全員にしても欠席する人がいるのだから、みんなが準備委員になれば良いのではないか。今いる人たちが準備委員になって。

(委員)

もう1回このメンバーで集まって協議していく必要があると思う。

(委員)

事務局の方でもここまでは出来るよ、というところまで準備しておいてもらい、こちらはこちらでどうするかを決めてみんなが集まる解散会の時に次はこうしたらどうかを決める。その時に今の審議委員の人をベースにし、その他にこんな人を呼んだらどうかをみんなで持ち寄って話をすればどうか。

(委員)

そうすると2月に解散会なので1月に準備会を開催するということになるか。

(委員)

そうすれば昼間にでも集まって夜が都合悪ければ昼間に2時間位でやるか。

(会長)

それでは、1の地域審議会の終了については、2月の中旬に解散会を開催するということと、それまでに御坂の良いシステム作りを何とか考えていくということによろしいか。

それでは、1はこれで終わり、2のその他になるが事務局で何かあるか。

## (2)その他

(事務局)

(事務局から事務連絡)

## 4. 閉 会(副会長)

互礼を交わし終了 (午後8時17分)